

STUDIA

HUMANA et NATURALIA

52

-
-
- 京都療病院創設に関する新資料
八木 聖 弥 (1)
- 医療における放射線被ばくの医学生命倫理的考察 (Part II)
- テーラーメイド放射線防護への道標 -
亀 井 修 (15)
- 脳幹の形成過程で見られる正中領域を越える細胞の移動
小野勝彦 川野幸平 (29)
- 生物の寒冷適応をもたらした遺伝的基盤について
野村真 末永大夢 (41)
- ゲノム編集技術を用いた脳の進化発生学研究の展開
野村真 河本昌也 (51)
- On the zero weight ratios of exceptional compact Lie groups
Ikumitsu NAGASAKI (63)
- 組織の倫理風土の概念化と測定化
- 論文“Conceptualizing and Measuring Ethical Work Climate:
Development And Validation of the Ethical Climate Index”の分析を基に -
峯 村 優 一 (77)
- 組織の研究環境調査
- 論文“Development and validation of the survey of organizational
research climate (SORC)”および“Relationships between the Survey
of Organizational Research Climate (SORC) and self-reported
research practices.”の分析を中心として -
福 家 佑 亮 (87)
-
-

2019年3月

京都府立医科大学医学部医学科

STUDIA HUMANA et NATURALIA

51

- 研究におけるプロフェッショナルな意思決定の測定と尺度化
– 論文“Professional Decision-Making in Research (PDR) :
The Validity of a New Measure”の評価と分析を中心として –
鵜 殿 慧 (1)
- 角田隆講義録『病理総論』(8) 八 木 聖 弥 (15)
- An estimate of the isovariant Borsuk-Ulam constant
for a group of type B_2 Ikumitsu NAGASAKI (41)
- 視神経オリゴデンドロサイトの起源とマウスとニワトリでの種差
小野勝彦 富永洋之 栗田菜花 後藤仁志 野村真 (51)
- 医療における放射線被ばくの医学生命倫理的考察
亀 井 修 (61)

STUDIA HUMANA et NATURALIA

50

- 角田隆講義録『病理総論』(7) 八 木 聖 弥 (1)
- Zero weight spaces of irreducible representations and
a new estimate of the isovariant Borsuk-Ulam constant for $SU(3)$
Ikumitsu NAGASAKI (29)
- ゾウリムシの維持とこれを使った生物学実習
小野勝彦 後藤仁志 野村真 (41)
- 生命科学実験動物としてのソメワケササクレヤモリの
飼育・繁殖方法 野 村 真 (49)

〈あとがき〉

平成30年の本誌 *Studia Humana et Naturalia* を無事出版することができました。寄稿いただいた先生方にお礼を申し上げます。

さて、今年は大学の在り方を考えさせる2つの出来事がありました。まず、自然災害です。6月には「大阪府北部地震」、7月には「平成30年7月豪雨」、9月には台風21号の暴風雨、蛇足にはなりますが7月末の台風12号は東から西へと異例のコースをとり、目が点になりました。6月の地震では、休講・休校の扱いや学生への連絡についての課題が浮き上がりましたが、その経験から7月の豪雨では比較的早い時期に学生への連絡を行うことができたと思います。最近では、台風の接近に際して、JRを含めて公共交通機関が計画運休をするようになり、休校の決定も早い時期からできるようになりました。昭和のころには、電車が運休するぎりぎりまで講義や仕事をしていたと思いますが、平成の次の時代にはこのようなありかたも変わるのではないかと思います。

2つ目は、「体育会系」です。5月の日大アメフト部の一件に端を発して以降、大学や高校の有名な体育会系部活動における監督や先輩からの不適切と思われる指導が、新聞、週刊誌やネットの記事で目に付くようになりました。本学でも、これまでに部活単位での問題行動が内外から指摘され、厳しい指導が入っています。私たちの目の前にいるのは1年生です。このようなケースでは被害者となることが多いと思いますが、将来の加害者にもなりえます。スポーツの技量のレベルに差はあるものの、根底には共通する問題があると思います。改善のカギは「先輩に物申せる後輩の育成*」です。部活動やスポーツを通して、人が育ちゲマインシャフトの形成がうながされることは間違いありません。本学でも、このような課外活動が人間力の形成につながるよう、教員側からも指導と教育を行っていくことが必要だと思いました。

*田嶋幸三と清宮克幸の対談（「中央公論」132巻/10号、pp.120-129、2018）から引用・改変しました。

編集委員

人文・社会科学教室 瀬戸山 晃一

(Koichi SETOYAMA)

第一外国語教室 木塚 雅貴

(Masataka KIZUKA)

数学教室 長崎 生光

(Ikumitsu NAGASAKI)

物理学教室 上原 正三

(Shozo UEHARA)

化学教室 鈴木 孝禎

(Takayoshi SUZUKI)

生物学教室 小野 勝彦

(Katsuhiko ONO)

STUDIA HUMANA et NATURALIA 52 (非売品)

平成31年3月29日 印刷

平成31年3月29日 発行

編集兼 京都市立医科大学医学部医学科 (教養教育)

発行者 代表者 小野 勝彦

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-5

教養教育共同化施設「稻盛記念会館」

電話(075)703-4921

印刷所 (株) 田中プリント

STUDIA HUMANA et NATURALIA

No.52

March 2019

ISSN 0385-6755

CONTENTS

- New Historical Documents on Kyoto Prefectural Hospital
..... Seiya YAGI (1)
- Radiation Exposure in Medical Practice from a Perspective
of Biomedical Ethics (Part II): The way of tailor-made radiation protection
..... Osamu KAMEI (15)
- Transmedian migration in the developing vertebrate brainstem
..... Katsuhiko ONO and Kohei KAWANO (29)
- On the genetic basis of cold adaptation in animals
..... Tadashi NOMURA, Hiromu SUE-NAGA (41)
- Applications of genome editing techniques to brain Evo-Devo studies
..... Tadashi NOMURA, Masaya KAWAMOTO (51)
- On the zero weight ratios of exceptional compact Lie groups
..... Ikumitsu NAGASAKI (63)
- Conceptualizing and Measuring the Ethical Climate in Organizations:
On the Basis of the Analysis of Arnaud's article "Conceptualizing and
Measuring Ethical Work Climate: Development and Validation
of the Ethical Climate Index"..... Yuichi MINEMURA (77)
- The significance of the Survey of Organizational Research
Climate (SORC) and its limits Yusuke FUKUYA (87)

Published

by

KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE